

大倉喜八郎スピリッツ「進一層」で挑む、新発田駅前エリア活性化プロジェクト

オークラホテル、サッポロビール、東京経済大学などの創設に関わり、近代日本の礎を築いた
当市出身の実業家・大倉喜八郎が建築した「蔵春閣（ぞうしゅんかく）」が令和5年に（公財）
大倉文化財団から当市に寄贈され、JR新発田駅前の「東公園」に移築されました。
そこで、「困難にもひるまず・立ち止まらず・難局を突破する」という大倉喜八郎の「進一層
（しんいっそう）」の精神で地方創生に取り組み、同施設の移築・復元を契機に新発田駅前エリ
アの活性化を図ります。

 プロジェクト概要

I.蔵春閣を核とした誘客・回遊促進による駅前エリアの賑わい復活

- ◆ 蔵春閣を、周辺に点在する観光施設や歴史的景観を残す魅力的なスポットとの線的・面的な繋がりを作るプラットフォームとして、飲食や消費喚起による経済波及効果を創出します。

事業例：周辺の観光施設や民間団体と連携した人の流れを創出するイベントの開催、
飲食店と連携したグルメプランの企画・運営 等

II.大倉喜八郎スピリッツ「進一層」の伝承

- ◆ 実業家・大倉喜八郎の精神をこれから新発田で起業を目指す市民や子どもたちへ伝承する場を創出します。

事業例：市内企業の経営者等による創業塾の開催、小・中学校の社会科や総合学習等の
一環として「蔵春閣」見学等の実施 等

III.蔵春閣の復元・公開を契機としたまちの情報発信の強化

- ◆ 官民連携により、市内外問わず幅広い年代の方へ蔵春閣や大倉喜八郎についての情報を発信することで、当市への誘客を図るほか、リピーター獲得に向けた取組を推進します。

事業例：まちづくり団体と連携したSNSでの情報発信、インフルエンサーを活用した
市内外へのブログ形式による情報発信



大倉喜八郎

撮影／写真家岩崎和雄



新発田市に移築・復元された蔵春閣



蔵春閣での各種イベント